

小松市重点目標

未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

授業の質的改革 → 資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

- ①児童生徒が 主体的・対話的に学習したくなる授業
- ②児童生徒が 自己の思考を深め、自己表現したくなる授業（思考力・記述力・発表力）
- ③児童生徒が 自己の学習をふりかえり、学びを実感できる授業

組織的な体制・環境づくり → 児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成

- ④教職員が 目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち、課題の解決に取り組む
- ⑤教職員が 授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む
- ⑥教職員が 児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

令和５年度 学校評価重点計画

小松市立月津小学校
学校長 木下 真由美

目指す児童生徒の姿

「笑顔あふれる月津っ子」

○自ら考え、表現する子 ○思いやりのある子 ○たくましく、粘り強い子

トライで笑顔 ～「よりよくなろう」をつなげて～

（１）学校の課題

- ・明るく素直な児童が多く、見通しが持てると前向きに取り組める。
- ・相手の気持ちを考えた言動ができず、関係づくりに課題のある児童もいる。
- ・よりよい自分、学級、学校のために、主体的に考え、行動する経験を積み重ねていく。

（２）具体的な方策と検証

○学びや成長を実感できる授業づくり

- ・学校研究を軸とした、教師による組織的学びと実践
- ・効果的 ICT 活用のための研修
- ・基礎学力の定着に向けた課題の共有

○互いを認め、高め合える集団づくり

- ・自己の成長を実感できる活動後の振り返り
- ・互いを知り、認め合える学級経営
- ・児童主体となる各活動の企画と運営
- ・個別支援体制の充実

※検証 学校生活アンケート・評価テスト・学校評価アンケート・現状の見取りと分析